

# 関数の定義

戻り値あり → int, float など戻り値の型  
戻り値なし → void

戻り値の型 関数名 (  )

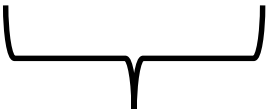
```
{  
    // 処理  
    return 値;  
}
```

- 引数あり → 「型 引数名」  
複数のときはコンマ区切り
- 引数なし → void

※ void(形) : 空虚な, 空の → ないことを表す

# 関数の使い方

関数名(値, ...)



引数

- 関数によって数が違う
- 複数の場合はコンマで区切る

※ 関数, 引数ともに使用時には型は指定しない  
→ 引数がない場合は「関数名()」

使用例: `y = abs(x);`

ここが先に計算されて具体的な値に置き換わる